

市制施行 70 周年記念 舞鶴赤れんがハーフマラソン 全国からのランナー 2,098 人が舞鶴を駆け抜ける



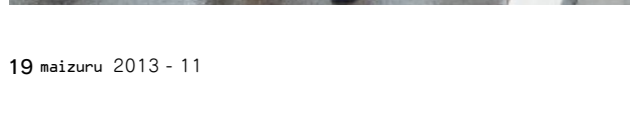
10月20日、「舞鶴赤れんがハーフマラソン」が市制施行70周年記念事業として開催されました。

北は北海道から南は九州までの日本各地から集ったランナー2,098人が、舞鶴ならではのコースを爽やかに駆け抜けました。赤れんが倉庫や普段は走ることのできない自衛隊基地内の景色などを楽しみながら走るランナーも多く、この日だけの特別な時間を満喫していました。

また、沿道からはたくさんの市民の温かい声援が響き、吹奏楽や和太鼓の演奏でランナーを応援する姿もみられました。

この日、協力いただいたボランティアスタッフは約500人。舞鶴市民の「おもてなし」で、ランナーの皆さんの記憶に残るイベントとなったのではないのでしょうか。

01. いっせいにスタート 02. 赤れんが倉庫を横目に 03. 護衛艦のすぐそばを 04. 舞鶴航空基地内を走る 05. ゲストランナーの市橋有里さん(右) 06. ペアの部で親子づれも走る 07. スタート直後のステージ前 08. 城南中吹奏楽部による応援演奏 09. ボランティアスタッフも頑張る 10. EVスポーツカー「トミーカイラZZ-EV」が先導 11. 総合1位でゴールした石橋創さん



図書館だより

～ 今月のおすすめ本 ～



単位と記号
白鳥敬

長さの単位メートルはどのように決められている？時計が60進法なのはなぜ？食べ物のエネルギーを表わすカロリーとは？広く使われている単位と記号について、成り立ちや意味をわかりやすく解説。(東)



世界がもし100億人になったら
スティーブン・エモット

いずれは100億人に達する見込みの地球の人口。食料、水、エネルギー、気温…。このまま人口が増え続けたら、地球環境はどうなるのか。イギリスの科学者がその因果関係を指摘し、危機を警告する。(西)

▶詳しくは、東図書館(☎62・0190) 西図書館(☎75・5406)へ。

防災ひとくちメモ

～ 風水害時の避難のポイント～

9月中旬、舞鶴市に甚大な被害をもたらした台風18号の対応として市内全域に避難情報を発表しましたが、夜間であったこと、また、市内全域で河川の氾濫や土砂災害の恐れがあったことから、「避難所への避難が危険な場合は、自宅の2階などへの避難を」と呼び掛けました。

避難情報が発表された場合でも、そのときの状況に応じて各自で判断して命を守る行動を取ってください。



【風水害時の避難のポイント】

- ①基本は、避難所への早めの避難
- ②避難所への避難が危険な場合
(夜間や河川の氾濫、土砂災害の恐れがある場合)
 - ◆自宅にとどまる(垂直避難)
(川沿いや山際などでは家の2階など比較的安全な場所にとどまる)
 - ◆隣近所や集会所など安全な場所へ避難
(日ごろから河川の氾濫や土砂災害などの危険性が低い場所を確認)

▶詳しくは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。

旅の途中 舞鶴に舞い降りた夢



10月7日、城北中学校の生徒の皆さんが市役所の庭に作ったフジバカマの花壇に、アサギマダラが飛来しました。アサギマダラは、2千メートル以上の渡りをすることもあり、フジバカマを好むことで知られています。このチョウを呼び寄せようという活動は、地域の皆さんと同校の生徒が同じ夢(目標)を持ち、共に汗を流して喜びを分かち合う「夢プロジェクト」の一つとして平成23年度から実施されています。今年も「夢」は叶い、アサギマダラが同校や市内のフジバカマの花壇で見られました。



01. フジバカマを植える(8月5日) 02. アサギマダラが飛来(10月7日)